

「船舶運用」シラバス（授業計画）

海洋技術科 2年 航海類型 3単位

月	総時数	学習項目	学習内容	時数
4	3	1 船舶の概要	・船舶運用の概要説明	1
		①船舶の意義	・船舶の役割、種類、代表的な船舶	2
5	5	②漁船の意義	・漁船の沿革、定義、従業制限と航行区域	2
	16	③船の種類と船体構造	・船質による分類、推進方法による分類	3
			・船体の各部の名称と構造、船体の強さ	5
		・主要寸法、トン数	3	
6	32	2 船舶の設備		
		①操船・機関・通信設備	・舵の各部名称、種類、操舵装置 ・主機関、軸系とプロペラ ・補機、電気機器、燃料と潤滑油 ・機関部機器の自動化と遠隔操縦 ・船内通信連絡設備、無線通信設備 ・GMDSS関連の設備	3 3 3 2 2 3
6	41	②係船・荷役設備	・錨（アンカー）、錨鎖 ・ウインドラスと付属具、その他の係船設備 ・デリック装置、漁船の荷役設備	3 3 3
	50	③船用品	・ロープ類 ・滑車及びテークル	3 6
7	60	④安全・衛生設備	・救命艇及び救助艇、救命筏	3
			・その他の救命器具、救命信号 ・救命艇などの揚げ降ろし装置 ・消防設備、防排水設備 ・通風及び採光設備、船内居住衛生設備	2 1 2 2
9	63	⑤漁業設備	・遠洋底引網漁船、機船底引網漁船、巻網漁船、海外巻網漁船、マグロ延縄漁船、カツオ一本釣漁船、その他の漁船	3
	65	⑥冷凍・冷蔵設備	・冷却と凍結、冷凍装置、魚倉	2
10	73	3 船務		
		①乗務員の編成と職務	・乗務員の編成、職務 ・当直勤務、航海当直中の任務と注意事項 ・当直交代、引継ぎ、舷門当直、操業中の当直、・航海日誌の種類と注意事項	2 3 2 1
11	82	②船体の整備	・塗装、塗料の種類、塗装法 ・船体各部の保存手入れ	6 3
12	96	③ドックと検査	・入渠の目的、ドックの種類	4
			・入渠準備、入渠中の主な作業及び注意 ・出渠準備、船舶検査	5 5
1				
2	103	④通信	・国際信号書における用語、種類 ・信号方式の種類、旗りゅう信号、発光信号 ・GMDSS、海上特殊無線技士、AIS	2 2 3
	105	⑤保安の確保	・船舶、船舶所有者が講ずべき措置 ・船舶保安統括者・船舶保安管理者の役割	1 1